

今後の企業債管理の考え方

1 企業債の概要

(1) 企業債とは

地方公営企業（例：いわき市水道局）が施設の建設・改良等に要する資金に充てるために国などから借りるお金のこと。

(2) 対象経費及び借入限度額

- ・ 上水道及び簡易水道に係る建設改良費
 - ・ 水道施設としての用途を廃止した施設の撤去費
- なお、所要の経費は、その全額を借り入れることができる。
(全額を借入れた場合、充当率100%という。)

(3) 機能

・ 世代間負担の公平性の調整機能

水道施設は次世代も活用する資産であり、企業債の発行に伴う費用（元利償還金）を次世代にも負担してもらうことにより、現世代の負担を分配し、世代間負担の公平性を確保することができる。

・ 財源の補完機能

企業債は、各年度において、給水収益等では賄いきれない部分（資金の不足額）を補う機能を有している。

このため、資金が不足する場合、主たる収入である給水収益に頼るか、借金である企業債に頼るかを判断することとなる。

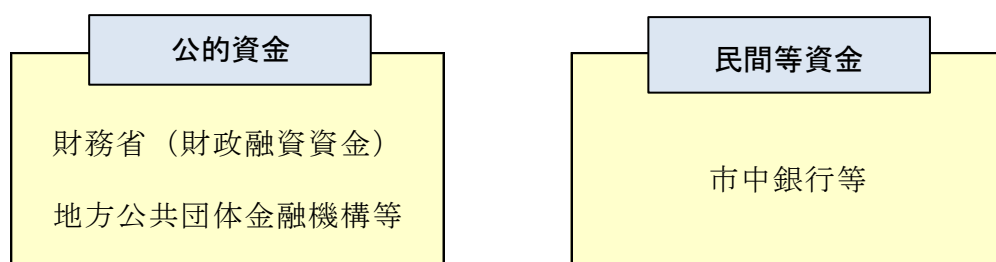
【収入合計（S44～H26） 3,928 億円（85 億円／年）】

給水収益 2,591億円 (66%)	企業債 747億円 (19%)	その他 590億円 (15%)
--------------------------	-----------------------	-----------------------

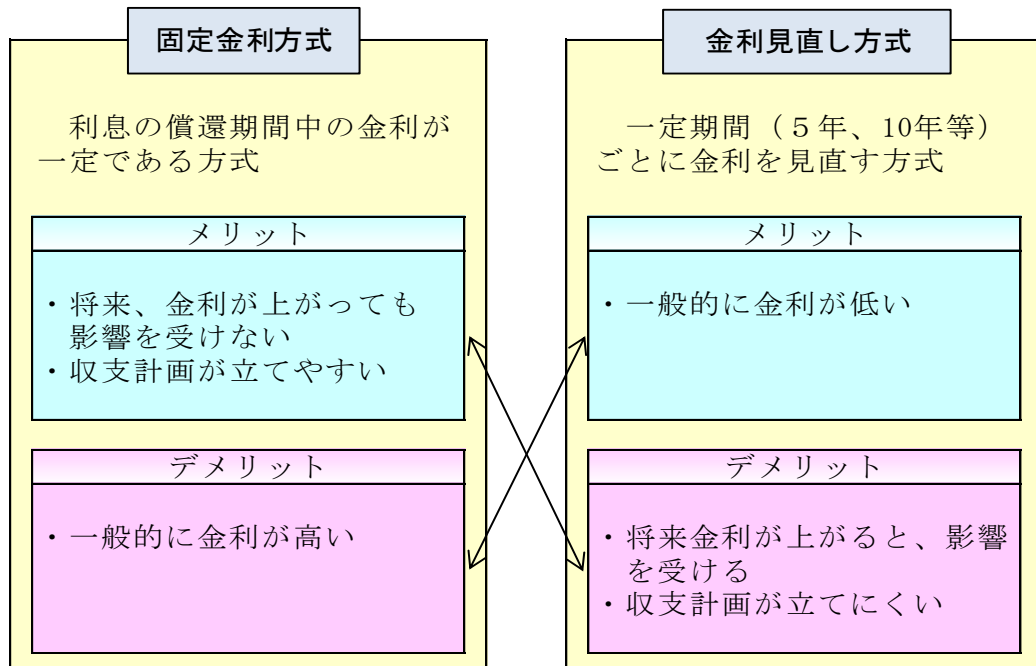
※ その他：国庫補助金、他会計補助金等

(4) 発行方法

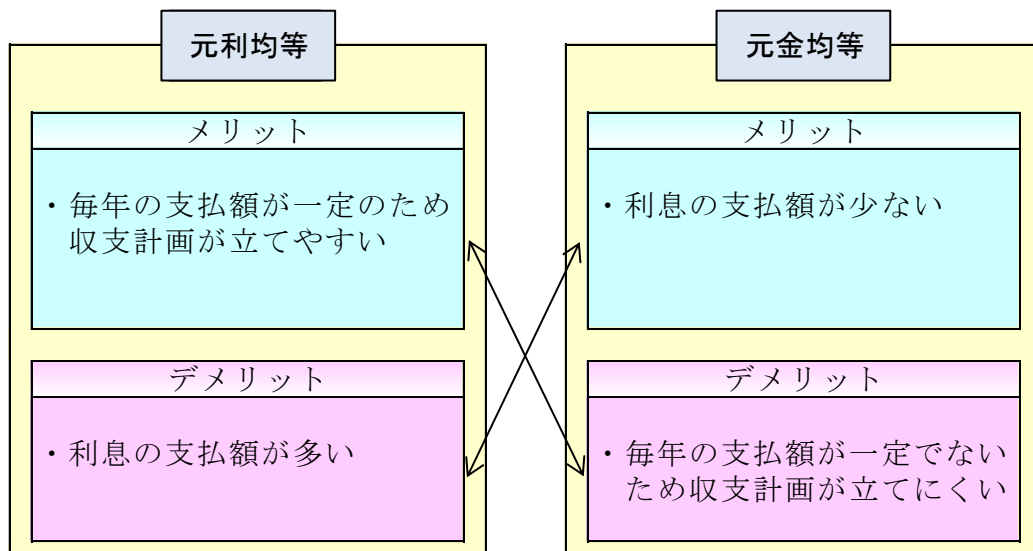
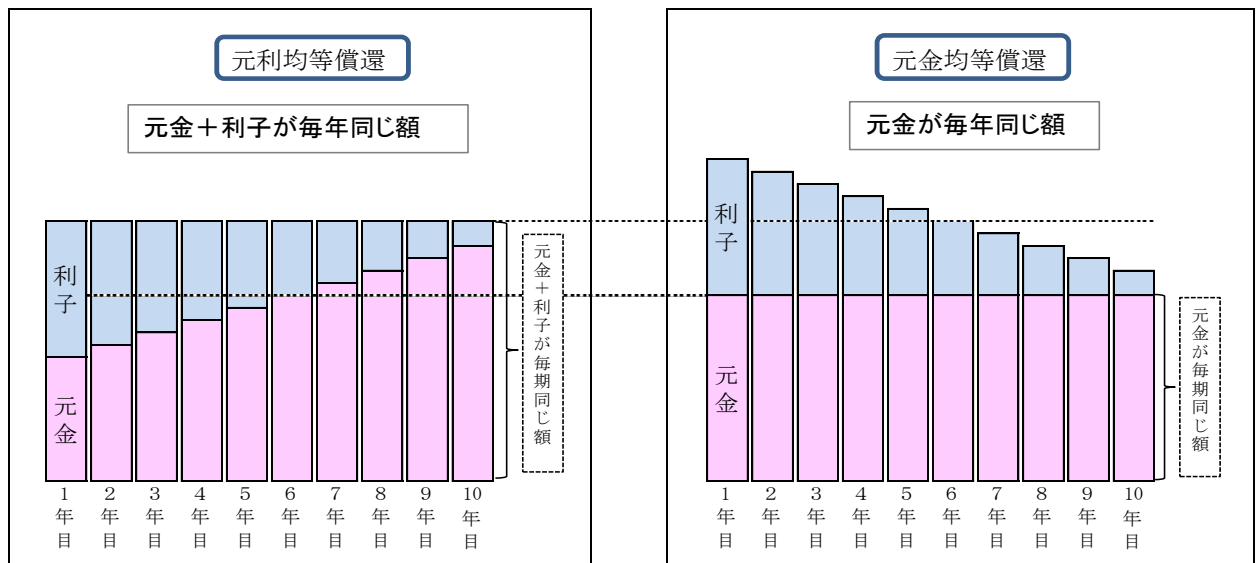
ア 借入先



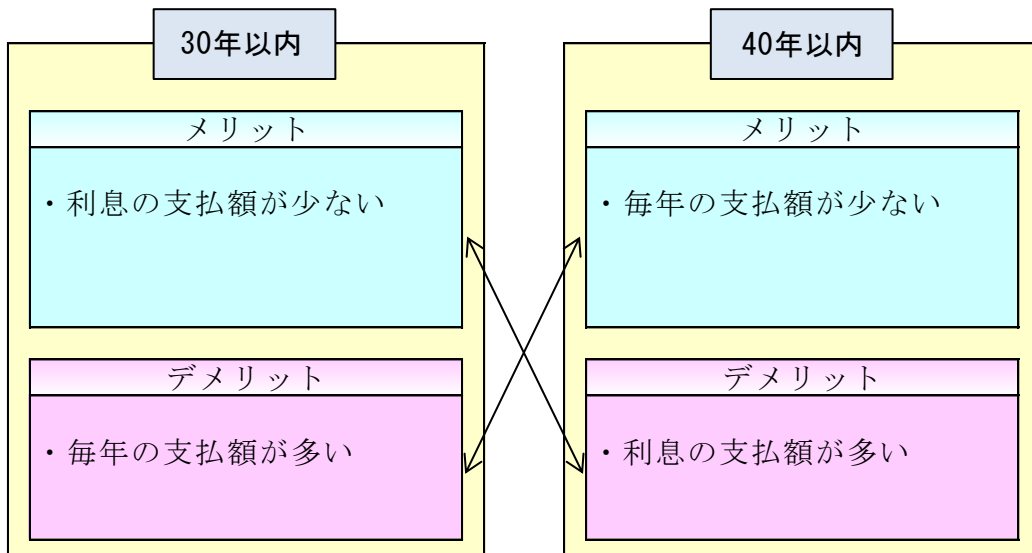
イ 金利方式



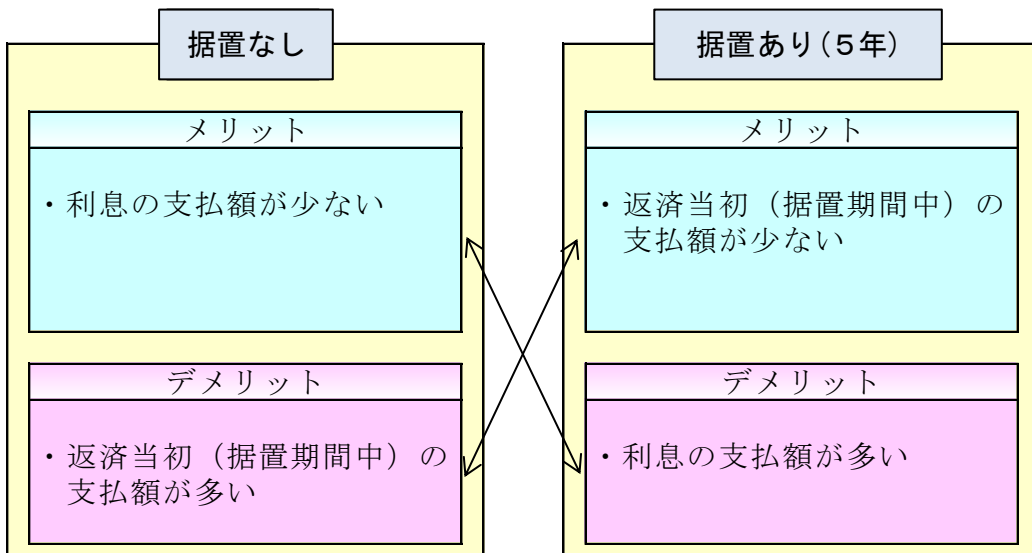
ウ 償還方法



エ 償還期間



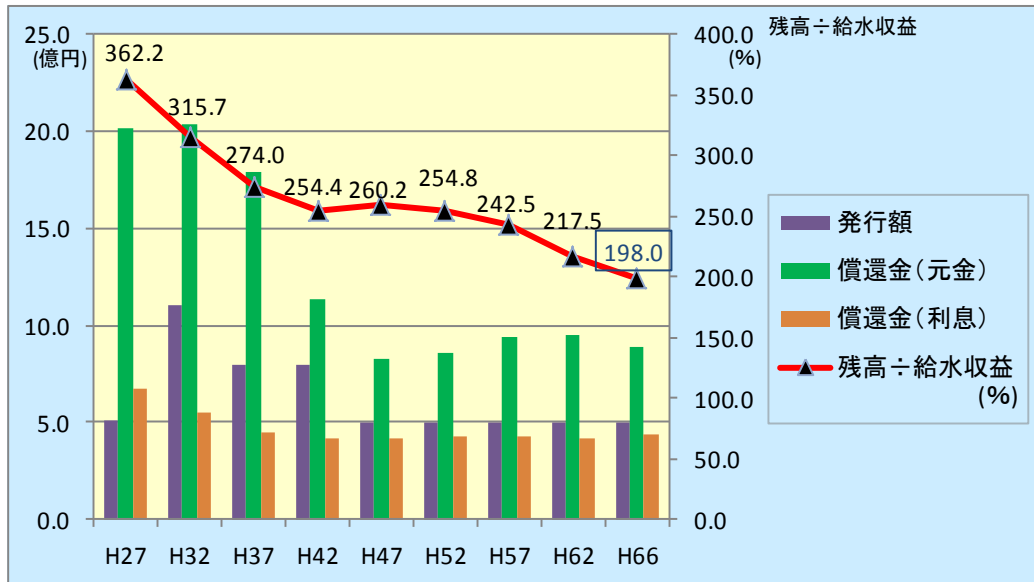
オ 据置期間



2 現行の見通し

(単位：億円)

	H27	H32	H37	H42	H47	H52	H57	H62	H66	H27~H66
発行額	5.1	11.0	8.0	8.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	275.8
償還金(元金)	20.2	20.4	17.9	11.3	8.3	8.6	9.4	9.5	8.9	504.6
償還金(利息)	6.7	5.5	4.5	4.2	4.2	4.3	4.3	4.2	4.4	183.7
残高÷給水収益	362.2	315.7	274.0	254.4	260.2	254.8	242.5	217.5	198.0	



(1) 発行額

- ・ 目標値 (40 年後) 企業債残高÷給水収益 ➡ 2 倍 (200%) 程度を予定

(2) 償還

- ・ 金利方式 固定金利方式
- ・ 償還方法 元利均等方式
- ・ 償還期間 30 年
- ・ 据置期間 5 年

3 今後の考え方

平成 27 年度の企業債制度の改正 (償還方法及び償還期間) を踏まえながら、新たな経営計画の策定に併せて、最適な企業債の管理方法 (発行方法及び発行額) を定める。

～参考とする指標 (予定) ～

○ 企業債残高÷給水収益

平成 26 年度決算値

- ・ いわき市 ➡ 369.3%
- ・ 同規模団体平均 ➡ 359.3%

○ 企業債残高÷給水人口 (世代間負担の公平性を確保するための指標)

平成 26 年度決算値

- ・ いわき市 ➡ 90,900 円/人
- ・ 同規模団体平均 ➡ 63,001 円/人